

静岡大学グローバル探求プログラム 2023

Local から Global へ！ — あなたの未来の選択肢 —

募集要項

複雑化する国際社会で活躍するグローバルリーダーの育成においてより専門的で実践的な学びを重視し、これまで国際連携推進機構が国際教育プログラムとして実施していた「スチューデント・アンバサダープログラム」は、2023年度から「静岡大学グローバル探求プログラム」（英語表記：Shizuoka University Global Exploration Program）という名称で新たなスタートをきることにしました。

本プログラムでは、静岡県で実際に起きている多文化共生の問題をとりあげ、課題設定から問題解決までの計画の立て方および問題解決方法（PCM 手法※）を学んでいきます。

【目標】

- ① 多様な学生とのグループ活動を通して、良好な人間関係を構築し創造的に課題解決を図る協調性とそれを支えるコミュニケーション能力を養う。（態度）
- ② 解決すべき課題を因果関係に基づいて分析することを通して、論理的思考力、批判的思考力を養い、わかりやすく情報発信する方法を身につける。（知識）
- ③ 参加型計画・立案手法を体験することを通して、PCM を用いた課題解決の方法を理解し身近な課題に応用できるようになる。（技能）

※PCM（Project Cycle Management）手法

PDM（Project Design Matrix）と呼ばれる概要表を用いて、プロジェクトの計画、実施、評価を管理する手法のこと。国際的な開発援助プロジェクトで広く用いられていますが、ビジネスや調査研究、社会貢献活動、職場や地域の課題解決にも応用可能な手法です。

【研修内容】

- ① 有識者から、静岡県内の多文化共生に関する現状を学ぶ。
グループで問題分析、目的分析を行い、プロジェクトを選択する。
- ② プロジェクト計画の概要表（PDM）を作成する。
- ③ グループで作成した PDM を、参加者で相互評価する。
- ④ プログラムを通して発見した「なりたい自分・これからの課題」から、自らが将来歩む進路を考える。

【期間】 2023年11月～2024年1月

【スケジュール】 木曜日 14：30～17：30 各 3 時間（予定）

	日程	内容	講師
1	11/2（木）	オリエンテーション チームビルディング マインドセット なぜ、PCM 手法？ PCM 手法の実践例紹介	国際連携推進機構 案野先生、原先生、比留間先生
2	11/9（木）	多文化共生について 事前学習 課題の提案	静岡県立大学国際関係学部 高畑幸教授 国際教職員
3	11/16（木）	PCM 手法研修① PCM について知ろう	国際連携推進機構 原先生
4	11/30（木）	PCM 手法研修② 課題解決の手だてを学ぼう	国際連携推進機構 原先生
5	12/7（木）	PCM 手法研修③ プロジェクトをデザインしよう	国際連携推進機構 原先生
6	12/14（木）	PCM 手法研修④ PDM を完成しよう	国際連携推進機構 原先生
7	1/18（木）	・報告会「問題解決法の提案」 ・振り返り「プログラム受講による変化（グローバルマインド、批判的思考など）」 ・「静岡大学グローバル探求プログラム修了証」授与	国際連携推進機構 教職員

【対象者】 静岡大学学生（学部、学年問わず）

【参加費】 無料

【募集定員】 25 名：静岡 15 名、浜松 10 名（予定）

※定員を超えた場合は応募書類により選考

【使用言語】 日本語・英語（ともに日常会話以上）

【静岡大学での単位】 単位認定なし

【応募条件】

- (1) プログラム期間中の研修日程すべてに参加できること
- (2) 欠席者への録画公開や、広報を目的とする大学ホームページなどで写真の公開を同意できること

【申し込み方法】

- (1) 申込締切：2023年10月16日（月）17：00まで
- (2) 申込方法：以下リンクまたはQRコードの応募フォームにて申込、国際課でとりまとめ

◆静岡キャンパス学生専用 申し込みフォーム

<https://forms.gle/J9ePP8aM9NrUTjw5>



◆浜松キャンパス学生専用 申し込みフォーム

<https://forms.gle/u8Ccgpe8mN3bKH5t8>



【問い合わせ先】

国際課（共通教育 A 棟 4 階）

TEL:054-238-4457

E-mail: outbound@adb.shizuoka.ac.jp